

令和 8 年度防災対応力の強化について

1 一時滞在施設及び二次避難所の通信手段の確保

(1) 概要

震災時における連絡手段として、一時滞在施設や二次避難所には一般電話回線以外の通信手段がなく、電話回線途絶時の代替え連絡手段がない状況である。

帰宅困難者や避難所での生活が困難な方を、早期に受け入れる体制を構築するため、新たな通信を確保する。

(2) 導入機器

I P 無線機を導入する。

※ I P 無線機とは、携帯電話回線（4 G や LTE）を利用する無線機のこと、携帯電話回線が途絶した場合でも、トランシーバーのように、機器同士の電波で通信可能な機能を有する機種を選定予定。

(3) 導入数

一時滞在施設、二次避難所、災害対策本部及び現場派遣職員用 合計 5 2 機

(4) 予算額（案）

2 2, 1 6 8 千円

2 感震ブレーカーの普及促進

(1) 概要

現在、台東区において地震による延焼が拡大するおそれのある地域を対象に、感震ブレーカー設置助成等を実施しているところである。今後、更なる設置率の向上を図るため、簡易タイプの感震ブレーカーに加え、新たに、アース線付きのコンセントから電気信号でブレーカーを落とすタイプの感震ブレーカーの無償配布を実施するとともに、設置助成件数の拡大に向けた積極的な広報活動を行う。

(2) 実施内容

コンセントタイプの無償配布

イベントでの周知や P R 説明会などの広報活動を推進

(3) 予算額（案）

3, 8 2 8 千円

3 災害時備蓄物資等整備指針に基づく備蓄品拡充及び備蓄管理システムの導入

(1) 概要

令和6年度に策定した、「台東区災害時備蓄物資等整備指針」に基づき、避難所の生活環境の向上等を図るための備蓄品の拡充を図る。また、備蓄管理の効率化・可視化を図るための備蓄管理システムを導入する。

(2) 実施内容

① 避難所備蓄の拡充

折り畳み簡易ベッド、ペットケージ、ネッククーラーなど

② 二次避難所備蓄の拡充

防災テント、とろみ剤、使い捨てベッドシート、収尿器など

③ 備蓄管理システム構築

在庫管理、入出庫管理、各種帳票出力機能などを実装予定

(3) 予算額（案）

歳入 5,454千円

歳出 41,412千円

4 防災ポータルサイトの導入

(1) 概要

発災時には、災害情報システムと連携し、区内の被災状況や避難所開設状況などの情報を発信するとともに、平時には、区からのお知らせ、気象情報や交通機関・ライフラインの情報など、区民が必要とする情報を一括して確認することができる防災ポータルサイトを導入する。

(2) 実施内容

防災ポータルサイト構築・運用

(3) 予算額（案）

1,672千円

5 今後の予定

令和8年4月以降 事業実施